

○事業所名	アインクラブ大森			
○保護者評価実施期間	2024年 11月 15日 ～ 2024年 12月 20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数)	24
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日 ～ 2024年 12月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お着替えや排泄、食事など生きていくために必要なスキルを身につけられる	自分の事は自分でできる様、声掛けや見守り、足りない所と一緒にに行い、少しずつできるように促している。 休校日利用時に自施設で昼食を作ることにより、食べられる物の幅が広がる、自分の使用したお皿などを自分でお片付けできるように促すなど。	個々の特性を理解して、行えるレベルを変えていく。調理に関しては、手順を分かりやすく絵や時系列で書き出す等していく。お着替えに関しては、汚れたことを自分で認識し大人に伝えられ、預かり服の中から自分で選んでもらう。
2	お友達と協調性を持って関われるようになる	集団活動の際に、お友達を誘って参加するようにしている。また、色鉛筆やブロック等の貸し借りができるように促している。	お友達と一緒に創作活動を行い、みんなで作り上げる喜びを感じられるような活動を取り入れていく。公共の公園や公共機関(電車やバス)等を使用し、一般の方々との関わり方を伝えていく。
3	一人ひとりの特性に合わせて、活動内容や声掛けの仕方などを変え、興味の幅が広がるようになる	平日の短い時間でも、必ず体操ダンスを行い身体を動かす時間を設けている。ダンスの曲目は児童のリクエストを流し、マンネリ化しないように心掛けている。また、外出先も児童のリクエストに答えたり、ワークショップなどイベントが開催されている場所へ出向き、興味の幅が広がるようにしている。	定期的に、外食の日やお買い物体験の日を増やし、自分で選ぶ事の喜びや自分でお金を払う勉強を取り入れていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容が固定化してしまう	活動内容の立案がされ行いう事が決定されても、職員間での定着ができず今までの内容に戻ってしまう。	活動内容の計画書を毎月作成し、職員間で共有し実行していく。
2	平日の個別活動時間が少ない	平日の利用時は、事業所内に滞在する時間が1時間30分程度で、お着替え、トイレ誘導、おやつ、集団活動の体操ダンスを行うと、一人ひとりの個別の時間を確保する事が難しい。	週3～5日利用している児童に関しては、週1日でも個別の時間を確保できるように、曜日を決めて行っていく。週1～2日利用している児童に関しては、最低でも月2日個別の時間を確保していく。また、今後は週3日以上の利用児童に切り替えて、個別活動時間を充実させたい。
3			